



今年^{うさぎ}は卯年 飛躍の1年へ!!



クローバーちゃん

© 諏訪友唯、うさぎのしっぽ柴又店

トピックス

倍賞千恵子さんと
青木区長の特別対談

葛飾区名誉区民顕彰式



葛飾区出身の著名人に
インタビュー



俳優
堀井新太さん



ミュージシャン・小説家
尾崎世界観さん

2・3面へ

年頭にあたって



葛飾区長 青木克徳



明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響や、物価・原油価格等の高騰など、厳しい社会状況が続く1年でした。区では、新型コロナウイルス対策の他、区内事業者に対する緊急融資の創設や、プレミアム付商品券の発行などの経済・生活支援を行ってまいりました。

今年は、SDGsなど新たな取り組みをこれまで以上に積極的に推進してまいります。

そこで、4月から小・中学校の給食費を無償化するための準備を進めてまいります。さらに高校生までの医療費助成拡大や10月の児童相談所開設など、子育て支援の充実に努めてまいります。

産業・観光におきましては、昨年産業フェアや寅さんサミットなどのイベントを感染症対策を講じながら、コロナ前の規模で開催することができ、大変多くの方々楽しんでいただきました。今年は4年ぶりとなる花火大会の開催に向けた準備をはじめ、柴又「川甚」跡地の新たな観光拠点としてのオープンに向けた準備を進めてまいります。その他、区内各地でさまざまなイベントを実施し、葛飾区の良さをさらに多くの方々知っていただきたいと思っております。

健康長寿につきましては、「46万区民を生き生き元気に!」をキャッチフレーズに、スマートフォンアプリを活用した体重計測・歩数管理などの生活習慣づくりの実施や、プラチナ・フィットネス、うんどう教室などを引き続き実施してまいります。

災害に強いまちづくりにつきましては、大型台風などの増水時を想定し、京成本線荒川橋梁で大型止水板を設置する国内でも珍しい水防訓練を昨年実施いたしました。水辺は憩いの場もありますが、時として危険な顔を見ることがあります。水害対策をしっかり行いながら、これからは川を活かした取り組みを実施してまいりたいと考えております。また、いざという時に備え、皆さまにご参加いただく防災訓練の実施にも取り組んでまいります。

本年が皆さまにとって、干支であるうさぎのように大きな飛躍のある、輝かしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

倍賞千恵子さんが名誉区民に!

特別対談 倍賞さん×青木区長

詳しい対談の様子はこちら▶



倍賞千恵子さん プロフィール

1941年生まれ。俳優・歌手。松竹音楽舞踊学校を卒業後、松竹歌劇団(SKD)へ入団。映画『男はつらいよ』シリーズでは寅さんの妹さくらを演じた。数々の映画に出演し、日本アカデミー賞主演女優賞を始め、多くの映画賞を受賞している。

けんしょうしき 顕彰式を終えて

倍賞さん お兄ちゃん(故渥美清さん)がいたらお兄ちゃんが(名誉区民に)なっていたら、代わりかなと思いました。私で良いのかな、という驚きが大きかったです、大変嬉しく光栄です。

区長 さくらを長年演じてこられた倍賞さんには、これまでも寅さんサミットなどの区のイベントに参加いただいています。これからいろいろな機会に区へお越しいただき、倍賞さんの活動を通して葛飾を多くの方に知ってもらいたいですね。

倍賞さん さくらを演じたことが役者としてのひとつのスタートだったような気がしています。コンサートではずっと『さくらのバラード』を歌い続けてきましたし、これからも続けていきたいです。

区長 歌手や俳優など、さまざまな場面で倍賞さんにご活躍いただくことが、葛飾を知ってもらうことにつながると思います。



葛飾区名誉区民とは

区のイメージアップやPRに長年貢献した方などを、区民の敬愛の対象として顕彰する制度で、区民の郷土愛の醸成につなげます。

葛飾はふるさとのようなまち。
名誉区民として
一層盛り上げていきたい!

葛飾への思い

倍賞さん 「下町らしさ」を感じられるところが、葛飾の魅力かなと思います。私が生まれ育ったところも下町だったのですが、柴又に来るとふるさに帰ってきたような感覚になるんです。『男はつらいよ』の撮影中も、街並みが変わらないように住民の皆さんが協力してくださり、撮影を続けられたことがとても印象に残っています。

区長 葛飾区は人と人との触れ合いを大切にしていますし、実際そう思っている方も多いと思います。昨年策定した葛飾区基本構想にも「人情」という言葉を入れたんですよ。柴又以外のまちでも人の温かさは変わりません。そこが葛飾の良さだと思います。

倍賞さん 「人」という漢字は支え合う人を表していると言いますが、葛飾はそんな良さが今でも強く残っていますよね。

区長 そうですね。「良き下町」を定着させていけるように、これからも頑張りたいですね。



2023年の抱負

倍賞さん 葛飾を元気付けて盛り上げていくためには、まずは自分自身が元気じゃないと何もできないですね。心も体も大事にして、名誉区民として一層盛り上げていきたいです。

区長 ますますお元気に活躍されることを願っています。私も下町葛飾の良さをいかに広めていくかを考えていきます。お互い健康に気を付けて、頑張っていきましょう。

休日応急診療 必ず事前に電話の上、マスク着用で受診してください。

中学生以下の方が受診する際は、保護者の同伴をお願いします。
車で来診される場合は、診療所の駐車場または近隣の有料駐車場をご利用ください。

◆医療機関などの案内

東京都医療機関案内サービスひまわり ☎03-5272-0303
東京消防庁救急相談センター(24時間対応) ☎#7119 または ☎03-3212-2323
本田消防署 ☎03-3694-0119 / 金町消防署 ☎03-3607-0119

◆平日夜間診療所(小児科)

平日夜間こどもクリニック(立石5-15-12 立石休日応急診療所) ☎03-3694-9550
(受付時間)月～金曜日 午後7時30分～9時45分

◆休日診療所(内科・小児科)

立石休日応急診療所(立石5-15-12 葛飾区医師会館内) ☎03-3694-9550
金町休日応急診療所(東金町1-22-1 金町地区センター内) ☎03-3627-0022
(受付時間)日曜日・祝日 午前10時～11時30分、午後1時～3時30分・5時～9時30分
土曜日 午後5時～9時30分

※立石休日応急診療所でのみ、インフルエンザの迅速検査、新型コロナウイルス感染症の抗原検査を実施しています(当日分のみの完全予約制。上記の受付時間内に電話での予約が必要です。ただし、検査の最終予約枠は午後9時です)。なお、検査希望の方全てが対象ではありません。国の方針に基づき、自己検査をお願いする場合があります。平日夜間・金町休日応急診療所では、検査は行っていません。

◆休日当番医(受付時間) 午前9時～11時30分、午後1時～4時30分

月日	医療機関名	診療科目	所在地	電話番号
1/8	葛飾にいじゅくクリニック	内、消内、皮	新宿6-2-15	03-3600-7060
	南塚医院	内、循、胃	東新小岩4-3-3	03-5698-3688
	茅野外科内科	外	西亀有2-37-3	03-3602-0357
	新小岩北口診療所	外、整、内、胃	西新小岩1-8-4	03-5670-2826
	土屋クリニック	産婦	高砂8-25-1	03-3607-2203
黒木整形外科内科クリニック	整、内、外、放、リハ	細田3-29-15	03-3672-9611	
1/9	加藤医院	内、皮	金町3-20-5	03-3607-1238
	葛飾にいじゅくクリニック	内、消内、皮	新宿6-2-15	03-3600-7060
	いしかわクリニック	内、胃、外	西新小岩4-37-3	03-3691-3715
	やたクリニック	内、外、胃	新小岩1-18-6	03-5661-1505
	茅野外科内科	外	西亀有2-37-3	03-3602-0357
黒木整形外科内科クリニック	整、内、外、放、リハ	細田3-29-15	03-3672-9611	

◆休日歯科当番医(診療時間) 午前9時～午後4時

月日	医療機関名	所在地	電話番号
1/8	関根歯科医院	東水元1-16-17	03-3627-4582
	山田歯科医院	西新小岩4-27-11	03-3691-1845
1/9	水元歯科	水元4-19-12	03-3600-1989
	青島歯科医院	堀切5-41-30	03-3603-6275

◆休日当番接骨院(開院時間) 午前9時～午後5時

月日	接骨院名	所在地	電話番号
1/8	新井鍼灸整骨院	東金町7-27-8	03-3627-0848
	安谷屋接骨院	四つ木2-15-7	03-3691-1868
1/9	多田整骨院	白鳥4-15-9-106	03-6427-8929
	登山整骨院	立石8-4-13	03-3691-1355

◆休日対応薬局(開局時間) 午前9時～午後5時30分

月日	薬局名	所在地	電話番号
1/8	フレンド薬局	西新小岩1-8-5-1階	03-5670-9311
	プライム薬局亀有店	亀有5-21-8-103	03-5682-7060
	水戸薬局本店	高砂5-36-7	03-3607-2562
1/9	ポプラ調剤薬局	金町3-20-6	03-3600-2338
	エース薬局	西新小岩4-37-14	03-3694-0939
	秋山薬局第三支店	小菅2-20-13	03-3603-0301

発熱などの症状がある方へ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
受診する前に各医療機関へ必ず電話でご相談ください。

プロフィール



ミュージシャン・小説家
尾崎 世界観 さん

1984年11月9日生まれ、お花茶屋出身。2012年にバンド「クリーブハイプ」のボーカル・ギターとしてメジャーデビュー。代表曲として『憂、燦々』『イト』『葉』などがある。小説家としても活動しており、2020年に発表した著書『母影』は小菅のまちがモデルとされ、第164回芥川龍之介賞の候補にもなった。

葛飾でのエピソード

お花茶屋図書館やお花茶屋公園は家から近かったので、よく行っていました。今は無くなってしまいましたが、駅前の本屋さんにもよく行って、今でも店内の様子が思い出せるほどです。かつしかシンフォニーヒルズでバンドの練習をしたこともあります。

大人になってからは、仕事で知り合った方と葛飾でお酒を飲んだこともあり。知らないお店もまだまだたくさんあるので、もっと開拓してみたいです。

音楽活動と文章を書く仕事、ふたつのバランスで今の自分が成り立っています

「音」として曲を届けたい
そのために「歌詞」がある

楽曲は、まず曲から作り始めて、曲という型に言葉を流し込んでいく感覚で作っています。「こだわって作った言葉を訴えたい」という、歌詞ありきではなく、あくまでも歌うために言葉を選んでいきます。しっかりと曲を届けるためには、変に気持ちを入れ込みすぎると良くないと思っています。作詞を始めた頃は歌詞の書き方も分からなかったけれど、22歳ごろからようやく自分の言葉で歌詞を書けるようになっていきました。

音楽活動で思い悩んだとき
文章を書く仕事が救いに

音楽活動が思うようにいっていなかった時、何か別のことをしていないと音楽を辞めてしまいそうで、文章を書く仕事を始めました。それまで小説を書きたいと思ったことはなかったのですが、文章を書くことは前から好きでした。書くことでしか伝わらないこともあるところが面白いと思っています。

文章を書いていると、音楽と比べて「できない」と思うことが多いですが、だからこそ改めて音楽に向き合うと安心感を得られます。音楽と一定の距離を取ることができるので、ふたつのバランスが自分にとってはすごく大切です。

本気だからこそその苦しみを感しながら
メジャーデビュー11年目へ

昨年、バンドはメジャーデビュー10周年を迎えました。デビュー前は自分たちが求められていないということが苦しかったのですが、今は大きな会場でのライブやメディア露出が当たり前になって、そんな現状を維持していかなければならないという苦しさもあります。時代も変わっていく中で、自分たちの良さを残しつつやっていくというのは大変だと感じます。苦しさを感するのは本気で向き合っているからであって、良いことだと思っています。

今年は、コロナで中止になってしまったライブツアーもようやく開催することができそうです。デビュー当時のことを思い返すと、大きな会場でライブができるのは感慨深いですね。まずはそれを成功させたいです。小説も、いま書いているものがあるので、なんとか形にしたいと思っています。



葛飾区出身の **あの人** にインタビュー



▲詳しいインタビュー内容についてはこちら

プロフィール



俳優
堀井 新太 さん

1992年6月26日生まれ、水元出身。高校3年生の時にワタナベエンターテインメント主催の「D☆DATE 新メンバーオーディション」でグランプリに選ばれ、俳優として連続テレビ小説『マッサン』や大河ドラマ『西郷どん』などにも出演。1月7日(出)から放送される連続ドラマ『三千円の使いかた』など、今後も多数のドラマに出演予定。

葛飾でのエピソード

水元公園にはランニングなどでよく行ってましたし、水元のポニースクールかつしかにも通ってました。野球をやっていたので奥戸の野球場にもよく行きました。

葛飾には今でも定期的に帰ってきて、友人と会ったり家族と食事に行ったりしています。葛飾の人はみんな人情にあふれていて温かいですよね。これからもそんな葛飾ならではの町の良さを残して行ってほしいです。

成長し続けた11年。12年目の今年は応援してくれる皆さんに恩返しをしたい！

新人俳優として朝ドラに出演、役者人生が本格的にはじまる

以前からテレビや映画を見ることが好きで、当時放送していたドラマ『ウォーターボーイズ』を見て芸能界に興味を持ち、オーディションを受けました。まさか自分がグランプリに選ばれるとは思ってなくて、発表時に上手なアクションが取れなかったほどです。

俳優として4年経ち、これから本格的に活動していきたいと思っていた時、『マッサン』への出演依頼を受けました。名だたる俳優さんたちが出演されている中で、自分一人取り残されないようにと、とにかく必死に食らいついていました。共演者や地元の友達にも励ましてもらい、苦勞しながらも、自分の持っている潜在能力を引き出すことができました。当時はブログを書いていて、それまでは1日約8千アクセスだったのが、出演後には100万アクセスまで伸び、自分の役者人生の転機になった作品だと思います。

役者が与える影響力の大きさを実感、役者としての活動意識が変わる

多くの作品に出演するにつれて、視聴者の方々から、その役に対するアドバイスや感謝の手紙をいただくことが増えました。それまでは自分のためと思って活動していました

が、皆さんからの言葉を受けて、自分が作品に出演する意味を深く考えるようになりました。

作品によって役柄も異なるので、役作りについて悩んだり、生活習慣などを変えて役作りに取り組んだり、大変に感じることはあります。その一方で、その役を通じて時代に切り込み、世の中を変えることができる力を持っていることが、役者の魅力でもあるのかなと感じます。

成長した姿をテレビや映画で届け、応援してくれる方々に恩返しをしたい

俳優活動を続けて、今年で12年目を迎えます。これまで多くのドラマや映画などに出演させてもらって、ようやく自分が描く役者像をイメージできるようになりました。この成長ぶりを今後の俳優活動を通して、応援してくれる方々にお届けできるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。



かつしか フォトギャラリー

広報かつしか令和4年11月15日号で、「区内で撮影した私の自慢の写真」を募集しました。たくさんのご応募ありがとうございました。紙面に掲載しきれなかった写真は、区ホームページに掲載しています。

【担当課】 広報課 ☎03-5654-8116



▲区ホームページ

① イチヨウ



真っ青な高い空に吸い込まれるように伸びる黄色い銀杏の木。黄色い絨毯に乗って飛んでみたい気分になりました。
撮影者：植草 節子
撮影場所：西亀有せせらぎ公園

② 両さんとお宮参り



地元の亀有香取神社でお宮参りをしました。両さんのようにたくましく育てほしい！
撮影者：さかみと
撮影場所：亀有香取神社
© 秋本治・アトリエビーだま/集英社

③ 花菖蒲とアオサギのコラボ



毎年6月に見頃を迎える、葛飾の区花である花菖蒲と、水元公園の野鳥アオサギのコラボです。また同じ季節には、アジサイもきれいに咲いています。
撮影者：渡邊 真人
撮影場所：水元公園

④ 江戸川河川敷から見た柴又公園



早春、柴又公園の河川敷花壇の花も見頃を迎えます。このチューリップは「葛飾区と五泉市との連携・協力に関する協定書」を締結している新潟県五泉市から寄贈されたものだそうです。
撮影者：松田 隆志
撮影場所：柴又公園 (江戸川河川敷)

撮影スポット



⑤ 手作り凧で、凧あげしたよ



元旦に子どもと一緒に凧を手作り。荒川河川敷に行って凧あげしてみると、空高くまで凧があがって大喜び！
撮影者：キャンディ
撮影場所：堀切水辺公園

⑥ 鐘堂と紅葉



春は桜、夏は蝉の声、秋は紅葉と、いつでも四季を感じられるお寺です。
撮影者：キャン太郎
撮影場所：日照山普賢寺

⑨ 葛飾の夜景スポット



⑩ 穏やかな一日



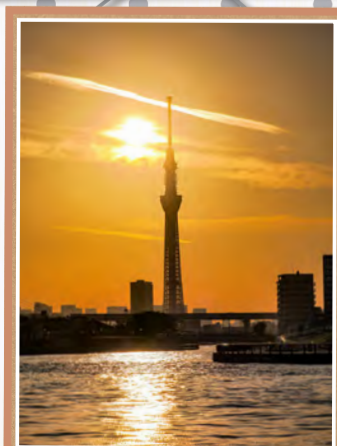
仕事帰りにふと駅のホームを見ると、きれいな夕日とともに、仕事を終えて帰宅される皆さんがいました。何事もなく終わる穏やかな1日に幸せを感じます。
撮影者：中川 竜二
撮影場所：京成立石駅

⑧ ももし、寅さんは寝てますよ



子どもと散歩に行った寅さん記念館。見たことない寅さんと黒電話なのに、とても楽しそうでした。
撮影者：湯浅 茂雄
撮影場所：寅さん記念館

⑪ 中川からの夕日とスカイツリー



夕時になると、中川からの夕日とスカイツリーのコラボが見えるおすすめのスポットです。毎日、楽しみにしています。
撮影者：小菅 進
撮影場所：中川(奥戸2丁目付近)